

新規事業採択時評価

2. 補助事業(沖縄県)

(水道)2件

番号	事業名	総事業費	事業概要	沖縄振興計画推進の視点からの評価
①	ナンジョウシ 南城市水道事業第1次拡張事業 ナンジョウシ (南城市)	3,722百万円	【主な整備事業内容】 送水設備 送水管：5,062m 配水施設 配水池：1か所 緊急遮断弁：2か所 配水管：L=57,822m 【工期】 平成27年度～平成41年度	<p>南城市水道事業第1次拡張事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、施設の新設・拡張や老朽施設の更新及び既存施設の耐震化、再構築をするものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>

新規事業採択時評価

2. 補助事業(沖縄県)
(水道)2件

②	東部第1区簡易水道事業延長事業 タケトミチヨウ (竹富町)	2,993百万円	<p>【主な整備事業内容】</p> <p>送水設備 海底送水管：13,045m 送水管：9,487m</p> <p>配水施設 配水管：L=13,280m 流量計：4か所</p> <p>【工期】 平成27年度～平成36年度</p>	<p>東部第1区簡易水道事業延長事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽施設の更新をするものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p>
---	-------------------------------------	----------	--	---

新規事業採択時評価

2. 補助事業(沖縄県)

(農業農村整備)2件

番号	事業名	総事業費	事業概要	沖縄振興計画推進の視点からの評価
③	農業競争力強化基盤整備事業 <small>カミクニシ</small> 上区西地区 <small>ミヤコジマシ</small> (宮古島市)	1,159百万円	【主要工事】 農業用排水施設(畑かん施設) 27ha 区画整理 27ha 【工期】 平成27年度～平成32年度	<p>宮古島では、伊良部島を含め約9000haの農地を対象として、既存の2か所の地下ダムに加えて、新たに2か所の地下ダムと幹線水路等を整備し、島内の農業用水の安定供給を行うべく平成21年度より国営事業を実施しているところである。</p> <p>本事業は、国営事業の実施に併せ、計画的に各地域単位で支線水路の整備及び区画整理を行い、各農地へ農業用水を供給し、地域の農業振興を図ろうとするものである。</p> <p>これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画の「かんがい施設の整備、区画整理等を推進する」に即しており、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を新規採択することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して P76 (7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興 カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 (略)</p> <p>このため、沖縄の特性に応じた、地下ダム等の整備や新たな農業用水源の確保、かんがい施設の整備、区画整理等を計画的に推進するとともに、水事情の変化に対応するため施設等の再編・更新を図ります。</p> <p>(参考)農林水産省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、1.07</p>

2. 補助事業(沖縄県)

(農業農村整備)2件

<p>④</p>	<p>農業競争力強化基盤整備事業 <small>ニシチュウソコバル</small> 西中底原地区 (宮古島市)</p>	<p>3,596百万円</p>	<p>【主要工事】 農業用排水施設(畑かん施設) 82ha 区画整理 54ha 排水路 1.7km</p> <p>【工期】 平成27年度～平成34年度</p>	<p>宮古島では、伊良部島を含め約9000haの農地を対象として、既存の2か所の地下ダムに加えて、新たに2か所の地下ダムと幹線水路等を整備し、島内の農業用水の安定供給を行うべく平成21年度より国営事業を実施しているところである。 本事業は、国営事業の実施に併せ、計画的に各地域単位で支線水路の整備及び区画整理を行い、各農地へ農業用水を供給し、地域の農業振興を図ろうとするものである。 これは、沖縄21世紀ビジョン基本計画の「かんがい施設の整備、区画整理等を推進する」に即しており、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を新規採択することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して P76 (7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興 力 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 (略)</p> <p>このため、沖縄の特性に応じた、地下ダム等の整備や新たな農業用水源の確保、かんがい施設の整備、区画整理等を計画的に推進するとともに、水事情の変化に対応するため施設等の再編・更新を図ります。</p> <p>(参考)農林水産省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、1.04</p>
----------	---	-----------------	--	---

新規事業採択時評価

2. 補助事業(沖縄県)

(水産基盤整備)2件

番号	事業名	総事業費	事業概要	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑤	水産生産基盤整備事業 トナキ トナキソン 渡名喜地区(渡名喜村)	2,620百万円	【主要工事】 第2沖防波堤改良 180m 第3沖防波堤 300m 第4沖防波堤 150m 航路・泊地浚渫 6,200㎡ 【工期】 平成27年度～平成36年度	<p>本事業は、渡名喜村において、港内及び防波堤等の新設・改良の整備を推進することにより、定期船の欠航率の解消と、災害時の緊急物資輸送の安全な出入港の確保を図ることとしており、沖縄21世紀ビジョン基本計画の「災害に強い漁港・漁村づくり」に即したものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を新規採択することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して P76 (7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興 力 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 「水産業の基盤整備については、水産物の生産・加工・流通体制の強化、亜熱帯地域の特性に配慮した防風・防曇施設や浮き棧橋等を整備します。また、老朽化した漁港・漁場施設の維持更新を計画的に推進するとともに、地震・津波等の災害に強い漁港・漁村づくりに取り組めます。」</p> <p>このため、沖縄の特性に応じた、防波堤等の整備を図ることにより安全・安定的な定期船の就航、出漁日数の増による生産量の増加等を図るものである。」</p> <p>(参考)農林水産省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄県が行った費用対効果分析は、1.12</p>

2. 補助事業(沖縄県)

(水産基盤整備)2件

<p>⑥</p>	<p>水産生産基盤整備事業 <small>イケマ ミヤコジマシ</small> 池間地区(宮古島市)</p>	<p>1,520百万円</p>	<p>【主要工事】 第2防波堤改良 160m 沖防波堤 50m 護岸改良 35m 航路標識2基 物揚場改良 54m 浮棧橋4基・130m</p> <p>【工期】 平成27年度～平成33年度</p>	<p>本事業は、宮古島市において防波堤等の新設・改良及び耐震化工事を実施するとともに、浮棧橋を整備することにより、災害に強く安全な漁港づくりの推進を図ることとしており、沖縄21世紀ビジョン基本計画の「災害に強い漁港・漁村づくり」に即したものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を新規採択することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して P76 (7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興 力 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 <u>「水産業の基盤整備については、水産物の生産・加工・流通体制の強化、亜熱帯地域の特性に配慮した防風・防暑施設や浮き棧橋等を整備します。また、老朽化した漁港・漁場施設の維持更新を計画的に推進するとともに、地震・津波等の災害に強い漁港・漁村づくりに取り組みます。」</u> このため、沖縄の特性に応じた、防波堤等の整備は、安全・安心な漁港づくりの推進、出漁時の待機時間の解消等を図るものである。」</p> <p>(参考)農林水産省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄県が行った費用対効果分析は、1.16</p>
----------	--	-----------------	---	--